

# 経営比較分析表

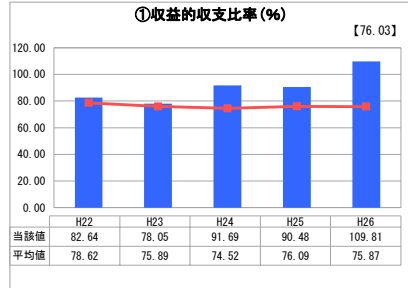
岐阜県 八百津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	17.85	4,384

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,828	128.79	91.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,096	17.70	118.42

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



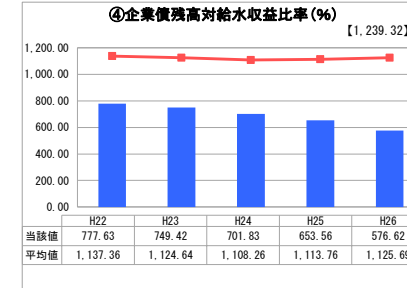
「単年度の収支」



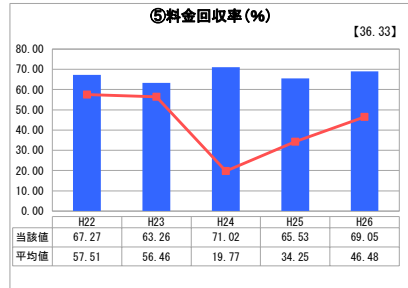
「累積欠損」



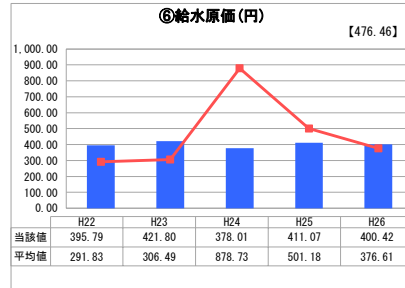
「支払能力」



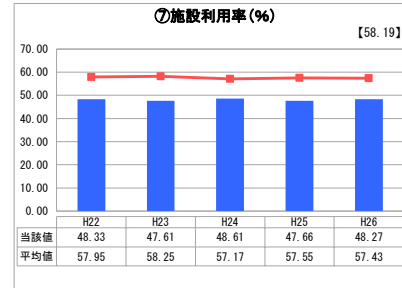
「債務残高」



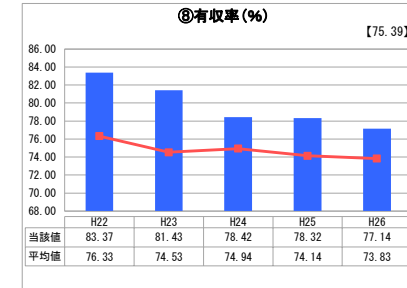
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

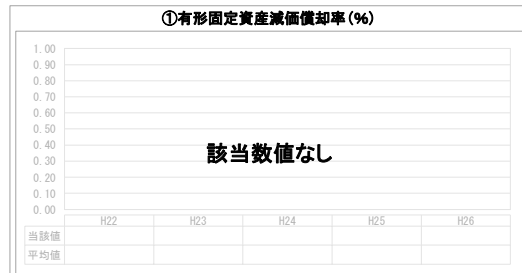


「施設の効率性」

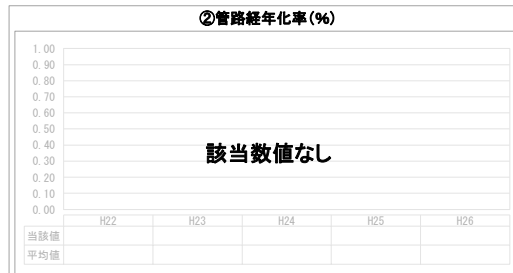


「供給した配水量の効率性」

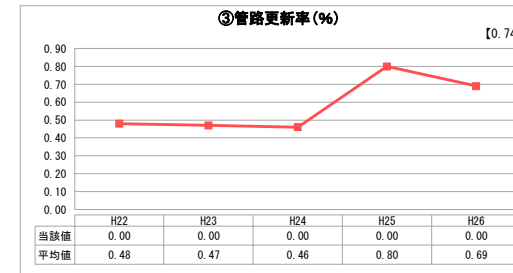
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

久田見浄水場、湖南浄水場、篠原浄水場の3つの浄水場で水を供給しています。給水区域面積が広く、給水人口の密度は低いため、給水原価は類似団体より若干高いです。料金回収率は他の団体よりも高いですが、100%を下回っていると給水収益だけでは事業運営ができていないことを意味するため、不足分は一般会計からの繰入金で随っています。平成29年度に上水道企業会計と統合し、公営企業法を適用することによって、八百津町全体の水道事業の運営状況をより詳細に把握することができます。このことを踏まえた上で、左記数値や収支バランス等を用いて経営分析を行い、将来に渡り安定したサービスを提供するための経営戦略を検討します。

### 2. 老朽化の状況について

昭和51年3月から供用を開始し、事業拡張を行うことで配水区域を広げていきました。管路についてはGISシステムをもとに老朽管を把握し、順次更新を行っています。老朽化は漏水の原因となるため、布設替工事を行うことで有収率の向上にもつながっています。電気・機械設備についても毎年点検を行い、点検結果に基づき、計画的な修繕・更新を行っています。

### 全体総括

現在、平成29年度に公営企業法を適用するために準備をしています。法適用化することで、経営状況・保有資産を今まで以上に的確に把握し、限られた財源・資産を有効に活用することで、長期的に安心して安全な水を供給することにつながります。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。